

[横浜市岩間市民プラザ]
令和 6 年度業務報告及び収支決算
[吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ]

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市岩間市民プラザ
所在地	横浜市保土ヶ谷区岩間町 1-7-15
構造・規模	鉄筋コンクリート造地下 1 階地上 5 階建て
敷地・延床面積	建築面積 1,314.73 m ² 、延床面積 5,213.74 m ² (岩間市民プラザ占有面積 2,120. 93m ²)
開館日	平成3年7月27日

2 指定管理者

団体名	吉野町・岩間アート&メディアパートナーズ
所在地	横浜市西区西平沼町6-1
代表者	代表取締役社長 熊谷 典和
代表事業者設立年月日	昭和 49 年 9 月 10 日
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
現指定管理者の管理運営開始日	平成 28 年 4 月 1 日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

【基本理念】

人をつなぎコミュニティを活性化するすべての市民にとっての広場となる

【業取実施にあたっての基本的な方針】

これまでの指定管理期間で取り組んできた共同事業体の構成企業の強みを活かした事業展開や強化ポイント、地域と育んできた関係性は堅持しつつ、さらに拡げていくことを目指します。そのため、新たに下記の 6 項目を運営における基本的な方針とします。

1. 全ての市民の「広場」

文化芸術とは市民生活の中、暮らしと共に存在するものです。市民プラザは全ての市民を受け入れる広場となり、市民と協働しながら文化芸術を振興し期待される社会の形成に取り組みます。

2. 市民と協働し、伴走する

市民プラザの活動の主体は市民であり、地域文化を育てるのも市民自身です。市民の要望（意欲、意思）を大切にする。つまり私たちの役割は専門的な知見を背景に、市民の活動を支援し伴走することです。

3. 多層のネットワークをコミュニティに創る

市民プラザが総合的文化芸術推進の視点に立ち、市民、NPO等の団体、企業、教育機関、福祉機関、行政と関係を結び、相互に連携協力し、継続的な関係性を維持し、文化的コモンズの核となるよう努めます。

4. 包摂型文化芸術振興

市民プラザの施設内外を問わず、事業、運営、管理すべてにおいて、誰もが参画できる、排除される人がいない取組みを進め、全ての人を対象に、社会包摂を前提とした活動を推進します。

5. コミュニティを活性化していく人材の育成

人材育成は地域の活性化にとって重要です。子どもの次世代育成や創造的活動だけではなく、文化芸術の力を活かし社会的課題解決につなげるコーディネーターや、サポート人材の育成も促進します。

6. 市民プラザ2館の連携、3館連携、さらにその先のネットワークへ

南区と保土ヶ谷区に位置する市民プラザ、3館連携の閑内ホールは中区と近隣区であり、これまで通り連携を続けていきます。さらに他の地域施設や団体などとの連携も進めていきます。

(2) 令和6年度の業務の方針

ア 全体について

指定管理第二期も3年目となり、第二期指定管理提案書に掲げた基本方針に立ち返り、諸業務の達成、継続業務の遂行に努めます。また、引き続き利用者に安全と安心を提供する施設運営に努めました。

イ 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

利用者の気持ちにそった施設運営ができるよう努めました。特に、初めてのご利用の際にスムーズに施設を利用できるようなお声掛けや申込方法等の丁寧な説明を心掛けるとともに、施設を試用する機会を設けました。来館者・利用者のニーズの把握に努め、日々の業務にフィードバックするようスタッフ間で情報共有しました。

また、ターゲットにあわせた広報手段で施設の情報を発信するとともに、施設の説明会や、既存の利用者と新規利用が見込まれるお客様をマッチングする取り組みなどを行い、施設の周知促進と利用者層の拡大を図りました。

ウ 使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

楽器、口演など様々な講座を開催し、身近な場において文化芸術を体験できる機会をつくりました。講座・体験・参加など多様な糸口をもつ、文化芸術と身近に出会える機会を提供できました。文化芸術を切り口としながら地域資産を顕在化させる市民のさまざまな取り組みとも連携し、施設の外にも文化芸術と身近に出会える場をめざし、市の中心部と郊外部の結節点に位置する市民プラザならではの取り組みで、市民と文化芸術が出会える場を創出することができました。

エ 使命3 次世代を担う人材を育む

子どもにとって初めて鑑賞する文化芸術や、初めて発表する機会などを提供しました。次代を担う子どもたちが文化芸術と出会い、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験し豊かな創造性や感受性を育むための事業を行いました。若い世代が市民プラザを利用しやすくなる仕組みを作り、アンケートやインタビューをとおしたニーズの調査を行い、親しみやすくわかりやすい事業になるべく努めました。近隣の保育園等の方とともに、園児さんたちの絵画展を実施することができました。今年度は地元の文化団体や文化活動をする方々のご協力を得ての事業も実施出来ました。このような活動が、文化芸術の担い手や活動を支える層を厚くすることにつながると思います。

オ 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

「文化芸術の力で人と街と施設を繋げる」ことを目標として、各種事業に取り組みました。地域団体との協力を通じて、市民と施設の良好な関係を築き、地域コミュニティの一員として活動出来ました。

近隣文化施設や各種文化団体、商店街、自治会等とのつながりを作ることに努めました。個別に

館スタッフが訪問する、会議等を通じてして関係性をつくる、継続した情報交換や共同事業・連携事業を実施することに努めました。地域のさまざまな取り組みをつなぐ役割を担い、市民活動が相乗効果を発揮できるよう支援するにはどうするか、地域の活性化に貢献するにはなにができるか、個別に各団体との話し合いを続けています。

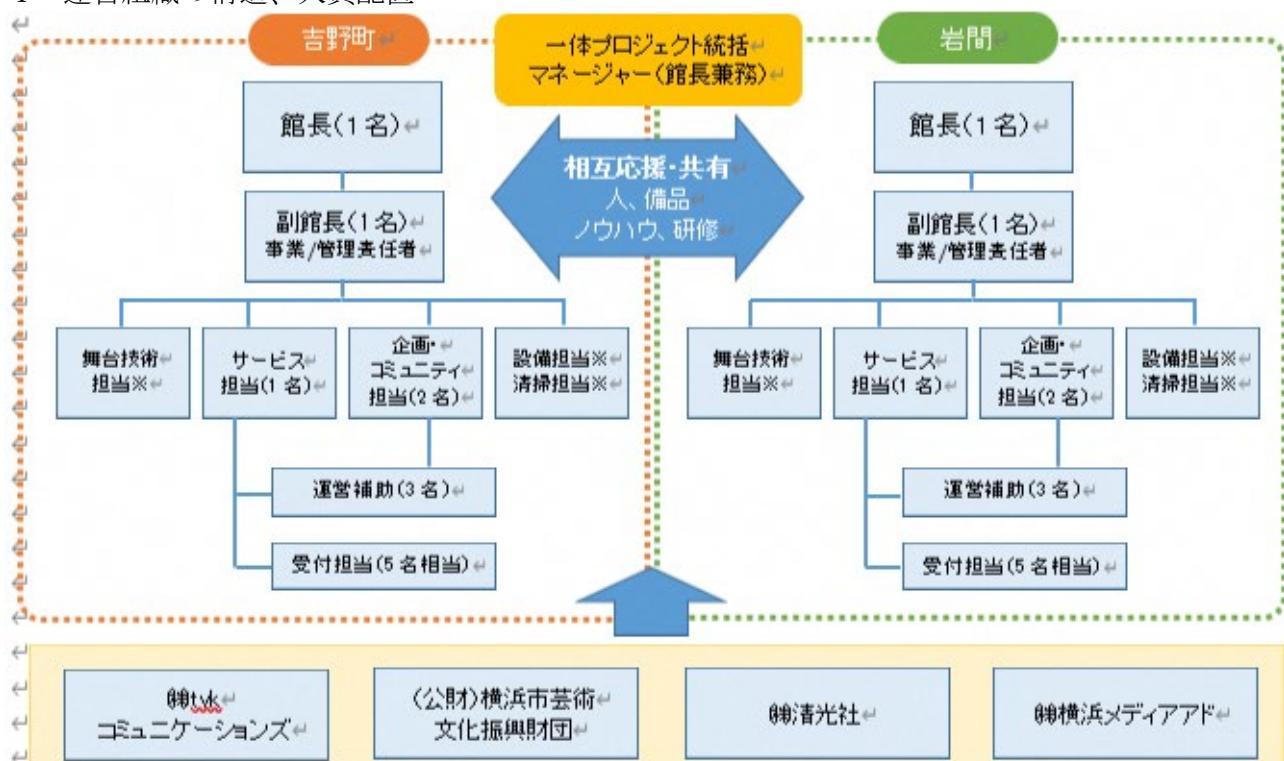
カ 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設の維持に努めました。館内他団体と連携しながら万一を想定した運営を行いました。効率的な経費の執行や収入増の取り組み等に努めました。

キ 使命6 感染症の影響を想定し施設運営を継続する。

コロナ禍の経験を活かし、新しい生活様式に対応した手法のもと、利用者が安心して利用を継続できる施設運営と身近に芸術文化に親しめる自主事業の実施を行いました。

4 運営組織の構造、人員配置



※ 舞台技術担当、清掃担当はそれぞれのシフトで勤務します。

※ 設備担当は、岩間はシフト勤務、吉野町はシフト外で勤務します。

5 使命の指標の達成状況と重点取り組み事項
 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

(1) 使命 1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	貸館利用率	ホール	88%	93%	93%	94%	—	95%
		ギャラリー	47%	54%	41%	56%	—	57%
		リハーサル室	54%	74%	48%	53%	—	75%
		レクチャールーム	64%	60%	61%	50%	—	64%
		スタジオ	81%	81%	84%	86%	—	84%
2	総来場者数	46,084人	58,000人	60,199人	47,843人	—	60,000人	—
3 ★	利用者アンケート回収率	37%	60%	46%	48%	—	60%	—
4 ★	利用者インタビュー	5件	20件	20件	20件	—	20件	—

イ 定性指標

通番	項目	達成指標と各年度の実績		
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	受付時、打合せ時に、コロナ禍における利用についての不満点、ご意見等聴取	
		R 5 達成指標	利用者アンケートによる現状把握	
		R 5 実績	利用者アンケートおよび受付で口頭でのインタビューによるご意見等の聴取を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサート等の料金が安いのは良いが、ホールの席が狭い(特にコロナの際に1席おき指定席だったため) ・更新後の予約システムがわかりにくい。対面のサービスセンターを無くさないでほしい。 ・抽選に当たったのにログインできないなどの不具合が多くなる。 ・事前通知なく、予約期限変更等があった。ガイドブックに記載されているルールとも違うので、混乱する。 等、今年度は、設備についてや予約システムについてのご意見・クレームが大変多かった。また、館側にできることにも限りがあったので、大変に心苦しかった。	
		R 6 実績	受付での口頭インタビューによるご意見等の聴取を実施し、職員間で情報共有。	
		R 7 実績	—	
		R 8 達成指標	利用者インタビューによる改善効果の検証	
		R 8 実績	—	
		R 4 実績	ホール体験のための「ピアノプラン」を実施	
2 ★	利用者と施設をつなぐ「ピ	R 5 達成指標	普段施設を利用してない方が来館利用するきっかけとなる。	
		R 5 実績	—	

アノプラン」、利用者同士をつなぐ「来て見て市民プラザ（仮称・新規）を実施する	R 6 実績	3日間 17 枠実施 14 枠 17 名参加
	R 7 実績	—
	R 8 達成指標	文化芸術活動に参加したい人を、募集する団体につなぐ。
	R 8 実績	—
★ 利用者の年代や居住エリアを分析し、ターゲットに合わせた広報手段で発信する	R 4 実績	QRコード活用アンケートを試行したが、反応は紙に及ばず、WEBによる発信はさらに工夫が必要。
	R 5 達成指標	来館者アンケートを実施、分析して広報手段について再確認・見直しを行う。
	R 5 実績	他館でのチラシ配架の他、相鉄沿線や地域の方々の来館が見込まれる事業については、広報よこはま保土ヶ谷区版、広域のお客様が見込まれる事業については、電波媒体でのスポットCM、いわまワークスとの共催事業については、タウンニュースに記事の掲載など、事業によって広報媒体を選んで広報活動を行った。
	R 6 実績	令和5年度同様に広報活動を行った。
	R 7 実績	—
	R 8 達成指標	これまでの来館者の年代・エリア推移を精査し、結果を検証する。
	R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取組む事項

「ピアノプラン」や「来てみて市民プラザ（オープンデー）」を実施しました。「U25 プラン」、リハーサル割引期間拡大などについては整理をし、実施の準備をしました。

エ 使命1の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
利用者の状況についての現状把握	受付での口頭インタビューによるご意見等の聴取を実施し、職員間で情報共有。	利用者の生の声を聞くことにより、課題が浮き彫りになるとともに、利用者との良好なコミュニケーションの機会を持つことができた。	設備不良に関するご意見が多く、経年劣化に伴う設備不良が増えており、優先順位をつけて設備や備品の修繕や更新をしているものの、不具合がほぼ日常的に発生している。
利用者と施設をつなぐ「ピアノプラン」、利用者同士をつなぐ「来て見て市民プラザ（仮称・新規）を実施する	「ホールでグランドピアノを弾いてみませんか」 ホール空き施設の活用。予約受付期間終了後にグランドピアノを個人がホールで演奏できる事業を実施。	利用率向上と新規顧客の開拓につながった。 スタッフがピアノ配置等のすべての準備を行い、舞台技術業務実践の機会となった。	4週間を切ってから日程を決め、告知するため、広報が十分ではなかった。 対象を拡大するため様々な、告知方法を開拓する、定期的な実施で事業を定着させる等で利用の拡大につなげる。

（2）使命2 文化芸術活動への参加の機会を提供する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
----	----	--------	----------	--------	--------	--------	----------	--------

1	体験型事業の事業数および実施回数	4事業 76回	3事業 25回	6事業 80回	5事業 44回	—	5事業 30回	—
2	アウトリーチ事業の実施回数	1回	7回	1回	1回	—	10回	—
3	来場者（参加者）満足度	4	4.5 (5段階)	4.2	4.5	—	4.5 (5段階)	—
4 ★	講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業	7事業 13回	5事業 15回	6事業 12回	5事業 8回	—	5事業 15回	—
5 ★	横浜トリエンナーレ、横浜音祭り、Dance Dance Dance @YOKOHAMA 参加事業の開催	1回	1回	1回	1回	—	1回	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績							
1	参加者の定性分析	R 4 実績	アンケートを実施。日常から来館者のニーズの把握に努めた。						
		R 5 達成指標	事業の参加者アンケートを分析し、次の企画に分析結果を生かす。						
		R 5 実績	参加者アンケートに記載された希望を聴取し、事業内容に反映させることに努めた。映画上映会などは具体的なリクエストが書かれているため、手配可能なものであれば、ご意見を反映させていただいた。定期的に開催しているコンサートの場合は、アンケートに書かれたご希望（演奏楽器・曲目等）を共催者と共有し、企画時の参考とさせていただいている。						
		R 6 実績	アンケートを実施。内容に対しての満足度は 4.5 (5段階)						
		R 7 実績	—						
		R 8 達成指標	事業の参加者アンケートをこれまでと比較し、達成度の推移を見る。						
		R 8 実績	—						
2 ★	文化芸術活動に役立つ講座の開催	R 4 実績	映像制作講座以外、おむね実施。						
		R 5 達成指標	来館者のニーズを把握し、今後の企画に生かす。						
		R 5 実績	事業参加者の反応を見て、企画内容を考慮、また、来年度以降の事業を企画。楽器体験講座などは、既存のものとは別のものを、6年度にまずは単発での開催を行う予定である。						
		R 6 実績	フルート体験講座。既存の講座であった二胡は講師逝去で中止。						
		R 7 実績	—						
		R 8 達成指標	過去の参加者のデータをもとに、講座開催の成果の検証を行う。						
		R 8 実績	—						
3 ★	アウトリーチ事業を地域のアーティストや利用団体と協働で開催	R 4 実績	地域イベントの中止により地域アウトリーチは断念。来年度以降の実施の準備として、地域団体のホール利用を誘致。						
		R 5 達成指標	地域のアーティストや団体と協働し、普段施設に来館されない方々に、芸術文化に触れていただく機会を提供する。						
		R 5 実績	プラザの利用団体の協力を得て、「オープンデー」で体験事業を実施。普段来館されない方の利用を得ることが出来た。						
		R 6 実績	保土ヶ谷花のフェスティバルにプラザ利用団体を派遣して演奏会を実施。						
		R 7 実績	—						
		R 8 達成指標	あらたに施設を利用し始めたアーティストや団体と、新しいイベントを開催する。						
		R 8 実績	—						

4 ★	オンラインイベントの開催	R 4 実績	主催事業の収録動画の発信を実施。
		R 5 達成指標	施設主催の講座に参加する受講者が、オンラインで成果を発表できる機会を作る。
		R 5 実績	主催事業の収録動画の発信を実施。
		R 6 実績	主催事業(岩間寄席)の収録動画の発信を実施。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	5年間の成果の精査を行う。
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取組む事項

体験機会の少ない楽器・または逆になじみのある楽器の講座、一人でもグループでも楽しめる話芸の講座などの体験講座を行い、利用者の文化芸術活動をはじめるきっかけづくりに努めます。また、地域のアーティスト・団体と協力して事業を行い、地元で活動する人への支援をします。

エ 使命2の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
講座・体験・参加を取り入れた鑑賞型事業	「日本舞踊ワークショップ」 小学生対象の日本舞踊体験講座を実施。 午前(8名)と午後(6名)の2コマ、4日間実施。最終日はミニ発表会。	保土ヶ谷区在住の一流の日本舞踊家を講師に招いて実施。 踊りだけではなく、礼儀作法やゆかたの着付も学べる。 ●保護者の感想 初日を終えた夜「日舞の先生になりたい！」と言っており、本当に楽しんでいるのだと思った。日舞と同時に相手を思いやる、配慮する気持ちも学べたと感じました。	令和5年度まで協力を得られた小学区でのチラシ配布が、6年度は学校でチラシ配布を行わなくなってしまっており、広報が縮小となつた。広報手段の検討が必要。
文化芸術活動に役立つ講座の開催	「レクチャーコンサート 藤田勝美とブルージーベッパーズ」 ジャズやクリフサイド、ドラムセットの歴史等を交えながら楽しむコンサート 1公演 103名	アンケートによる事業内容への満足度は4.9(5段階)と、非常に高かった。 ●アンケートから JAZZの歴史も興味深くきました。 三千円安いです！得した気分。	アンケート(回答率68%)によると、来場者の年齢層が高い(60代25%、70代49%、40代以下15%)。若い顧客層の開拓が必要。

3) 使命3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	子どもや親子連れをターゲットとした事業数	8事業 14回	5事業	7事業 12回	3事業 3回	—	8事業	—
2 ★	学校や保育園と連携した事業	6事業	3事業	6事業	6事業	—	3事業	—
3 ★	市民とともに企画・実施する事業	3事業	3事業	3事業	3事業	—	3事業	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	近隣の文化団体の状況把握	R 4 実績	近隣の団体を訪問し、イベントを誘致。
		R 5 達成指標	アートネットワーク会議を開催し、状況を把握する。
		R 5 実績	地域の団体と協力した事業を実施。 ・いわまオープンデーにおいて公募し、地域の文化団体の協力を得てホール等での体験講座、ミニコンサート、ワークショップなどを開催した。 ・「東海道風景街道」及び保土ヶ谷図書館協力の「東海道魅力発見講座(ホール)」及び「写真パネル展(ホワイエ)」を実施した。
		R 6 実績	地域の団体と協力・連携した事業を実施。 オープンデー、ROCK SPACE 他
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アートネットワーク会議から生まれた活動を支援する。
		R 8 実績	—
2	子どもたちや学校の定性分析（インタビュー調査）	R 4 実績	近隣保育園に事業の協力を依頼した際、事業等に関するご意見をうかがうことができた。
		R 5 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に3件反映する。
		R 5 実績	近隣保育園のご意見を「お絵かき展」に反映 ・一般の方には園児さんのお名前がわからない（が家族にはわかる）タイプの表示方法に変更した。施設側も園児のお名前等は預からない。（個人情報保護のため） ・今回折り紙の作品展示もあり、見に来た方も折り紙を折って展示する、観覧者参加型の形にした。 また、ご協力いただいた保育園・幼稚園のイベントチラシを掲示するなど、広報協力をすることが出来た。
		R 6 実績	近隣保育園より、展示スペースや展示内容について確認があり、より多くの作品展示ができるスペース作りをした。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	インタビュー調査の結果を、事業や運営に5件反映する。
		R 8 実績	—
3 ★	若い世代の文化芸術活動を応援する事業の実施	R 4 実績	「U25 プラン」を実施。
		R 5 達成指標	「U25 プラン」「ジュニア割引」「ウェルカムジュニア」等を実施し、若い世代の利用を応援する。
		R 5 実績	レクチャーコンサートではジュニア料金を設定した。小中学生を対象としたホールでのグランドピアノ体験が好評だった。
		R 6 実績	レクチャーコンサートではジュニア料金を設定した。若手アーティスト公演への協力。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	近隣・地元の保育園・幼稚園・小中学校と連携し、より積極的に活動を応援する。
		R 8 実績	—
4 ★	文化団体や文化活動をする人の活動に協力	R 4 実績	地域の文化団体との共催事業の実施。当該団体への広報協力実施。
		R 5 達成指標	地域の文化団体が活動する際、広報などの協力をする。
		R 5 実績	一部自主事業での「学割」設定は継続。「オープンデー」では協力いただいた地域の団体の発表・メンバー募集の協力等を行った。

	R 6 実績	「ROCK SPACE」と「オープンデー」で地域の団体や利用者の活動の場を提供。
	R 7 実績	—
	R 8 達成指標	地域の文化活動団体等との協働し、事業を開催する。
	R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取組む事項

近隣保育園の協力を得て、子どもたちの作品展示を行ったり、地域で活動している団体の協力を得て、子どもたちを招いて紙芝居会を開催したりするなど、文化芸術体験を通して、子どもたちと地域の皆さんとの交流の機会を設けることができました。

エ 使命3の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
学校や保育園と連携した事業、子どもや親子が文化芸術体験の芽を育める事業の開催	「ぼくのわたしのお絵かきあそび」 4つの近隣保育園の協力で77点の展示。10日間の展示期間中、156名の来場があった。	各保育園と連携して意見交換しながら実現した展示。次代を担うこどもたちの作品を園内だけでなく、広く一般の方々にご覧いただけた。タウンニュースで記事掲載があった。	展示スペースの工夫により展示数を増やす、近隣幼稚園へのリサーチを行う等、今後のさらなる展開も検討

(4) 使命4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	4事業	4事業	5事業	5事業	—	6事業	—
2	社会的包摂の実現を目指す事業数	3事業	3事業	4事業	4事業	—	4事業	—
3 ★	連携する団体数	8団体	6団体	8団体	9団体	—	8団体	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績					
1	連携したことによる地域の定性分析	R 4 実績	区民文化祭を除いて、地域の行事の中止が相次いだため、十分な情報収集は出来なかった。	R 5 達成指標	連携する地域行事の参加者を把握する。	R 5 実績	区民文化祭実行委員会参加及び自治会との協力を実施 ・保土ヶ谷区民文化祭「写真展」「いけばな展」「かがやき（高齢者作品）展」への協力を実施 ・地域交流室運営委員会への参加（自治会） ・8月岩間祭他協力
		R 6 実績	区民文化祭、地域の自治体の活動への協力	R 7 実績	—	R 8 達成指標	連携する地域行事の発展・拡大を目指す。
		R 8 実績	—	R 8 実績	—	R 8 実績	—
		R 4 実績	いくつかの団体のヒアリングを行い、ホールのイベント実施につながった。	R 4 実績	—	R 4 実績	—
		R 4 実績	—	R 4 実績	—	R 4 実績	—
		R 4 実績	—	R 4 実績	—	R 4 実績	—
		R 4 実績	—	R 4 実績	—	R 4 実績	—
2	社会的包摂の実現	R 4 実績	—	R 4 実績	—	R 4 実績	—

	を目指す事業への参加者へのヒアリング・分析	R 5 達成指標	ヒアリングにより参加者の意識を調査・分析し、次の事業へ反映させる。
		R 5 実績	視覚障害者の団体が活動の一つとして、当館自主事業に団体で観覧をご希望。ホール内がバリアフリーでない状態をご説明したうえでご参加。本来自由席なところ、他のお客様のご協力も頂き、出入りの際に転倒しにくい後ろ側の席をご案内。他のお客様のご協力も頂き、無事、ご覧いただいた。
		R 6 実績	嬉しいわまワークスや国際交流団体にヒアリング
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	ヒアリング結果を反映した事業の参加者に、変化を問うヒアリングを実施する。
		R 8 実績	—
3 ★	施設内外で地域情報の収集と提供、WEBに動画掲載	R 4 実績	市民プラザチャンネルの開設準備を行った。
		R 5 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、ホームページ等で紹介する。
		R 5 実績	地域で活動する団体のご協力を得て事業を実施。協力団体の情報も含めて、webにて広報を実施。
		R 6 実績	利用団体や近隣団体の情報提供を掲示板やチラシ配架で常時実施
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	地域で活動する団体とのつながりを通じて情報を収集し、ホームページ等で紹介する。
		R 8 実績	—
4 ★	未来開発プロジェクトの実施	R 4 実績	コロナ対応に鑑み、時期をずらした。
		R 5 達成指標	地域の人材との連携を深める。
		R 5 実績	事業協力をいたぐなど、複数の団体との連携を深めた。
		R 6 実績	配信可能なコンテンツ提供をいただけるか、団体に交渉する
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	施設と地域の人材によるあらたなプロジェクト・チームを立ち上げる。
		R 8 実績	—
5 ★	こどもと一緒に参加しやすい工夫（おむつ替え、授乳の場所を提供）	R 4 実績	授乳スペースをご希望される利用者に、空いている打合せ室をご利用いただいた。また、おむつ替えのできる場所が4階の1か所しかない点は課題。
		R 5 達成指標	安心して授乳できるスペースを工夫する。
		R 5 実績	おむつ替えのできる場所が4階にしかないとめ、申し出に応じて3階打合せスペースを提供。男女ともに入れ、かつ、プライバシーが確保できる場所が必要。
		R 6 実績	ニーズに応じ、対応を継続。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	来館者に聞き取りを行い、ご意見・要望などを収集する。物理的にも実行できる点は、反映し改善する。
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取組む事項

3年後を見据え、未来開発プロジェクトの準備として、地域の魅力の発掘、地域の人材との出会いなどにつながる事業の実施、地域の団体との協働、地元でのイベントへの積極的な参加などを試みました。

エ 使命4の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績（アウトプット）	成果（アウトカム）	課題
社会的包摂の実現を目指す事業	「インクルーシブ・ダンスワークショップ」障害のある人もない人も一緒にダンスワークショップを開催。関内ホール、吉野町市民プラザとの3館連携事業。	ワークショップの成果を関内ホールで発表。単館ではほとんど利用がない障害者が参加。3館で連携することにより、市内での面的な広がりも実現することができた。	地域の方々の参加もあった。今後も地域におけるバリアを超えた事業展開ができるよう、本事業での経験を活かす。

(5) 使命5 持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件	0件	0件	0件	—	0件	—
2	法定点検等の実施	100%	100%	100%	100%	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	121%	90%	99%	99%	—	90%	—
4 ★	職員及び共同事業体構成員自らが実施する小破修繕	機材28件 設備2件	5件	機材修繕 22件 設備修繕 7件	16件	—	5件	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績						
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R4実績	アンケートの中に施設に対する項目を設定して意見収集に努めた。					
		R5達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する。					
		R5実績	アンケートと受付等でのインタビューでご意見を聴取した。 ・ホールの席が狭いし、揺れる。 ・駐車場を利用する車両に大きさの制限がある。 (身障者用の車は大きい車が多いのだが、制限があるため入れない) ・搬入用エレベーターがない(エレベーターが小さい)					
		R6実績	アンケートと受付等でのインタビューによるご意見聴取 ホール／座席が揺れる、狭い。冷房が直接当たって寒い。 スタジオ／ピアノの音程が搖らぐ					
		R7実績	—					
		R8達成指標	利用者アンケートや事業参加者アンケートに、施設の使いやすさや快適さの設問を設け、意見を収集する					
		R8実績	—					
2	管理運営費推移の要因分析	R4実績	デマンド監視装置を継続して設置し、光熱費節約に努めた。					
		R5達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。					
		R5実績	こまめな節減を行うとともに、電気料節減のため、電気事業者を変更した。					

		R 6 実績	物価高騰により管理運営費の高騰が見られたが、可能な限り節電に努めた。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	省エネカルテを作成、分析し、光熱水費節減に役立てる。
		R 8 実績	—
3 ★	施設設備は長く使うことを前提に負荷の少ない運用	R 4 実績	貸出機材・備品のこまめな修繕を行った。
		R 5 達成指標	職員による日常的な機材などの状況確認をし、小さい不具合等の早期発見を心がける。
		R 5 実績	開館時閉館時以外にも、利用者切替の都度状況点検を行い、また、利用者からのご意見も聴取し、小さい不具合の段階から症状の確認と修繕に努めた。
		R 6 実績	日常点検を怠らず、不具合の早期発見に努めた。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	スタッフによる小破修繕を継続するとともに、施設内だけでなく、他施設とも協力しリサイクル・リユースの範囲を広げる。
		R 8 実績	—
4 ★	事業別収支計画の立案、結果の分析を次回に活用	R 4 実績	収支を月次で計算。また、事業ごとの収支計算を行い、内容を分析しました
		R 5 達成指標	月次収支の精査、事業単位での収支精査。分析の結果は次回に活用する。
		R 5 実績	月次ベース、事業ベースでの収支作成と精査を行った。
		R 6 実績	引き続き月次ベース、事業ベースでの収支作成と精査を行った。
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	5年間の成果の精査
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取組む事項

機材取扱い研修を通じて、職員が利用者に使い方を案内するとともに、日常的に備品の状態を確認でき、異常を速やかに認識して対応できる体制づくりに努めます。

また、ギャラリー・ホールについて、予約システムの予約期間を過ぎた空き時間帯を活用しての利用料収入増加、他の室場については空き状況を分析して、利用率増加をめざし、ギャラリーでは一定期間を過ぎた空き日程への目的外利用の誘致を行いました。

エ 使命5の令和6年度実績、成果及び課題

項目	実績(アウトプット)	成果(アウトカム)	課題
サービスレベルの統一とホスピタリティ向上につながる研修	接遇研修、人権研修、バリアフリー研修、防災訓練、機材研修、受付業務研修等の実施	休館日に館全体での防災訓練を行い、障害者ややさしい日本語での避難アナウンスを見るなど、多様なお客様に対応できる内容の訓練を行った。	受付業務研修は、キャッシュレス決済の対応方法を中心に行なっており、現時点では施設利用料金の当日分のみキャッシュレス対応としているが、今後はそれ以外の対応への検討も必要。

7 令和6年度の決算

別紙「令和6年度 「岩間市民プラザ」 収支予算書及び報告書」参照

令和6年度 「岩間市民プラザ」収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	77,649,363	236,324	77,885,687	77,885,687	0	横浜市より（賃金スライドによる見直し額加算後）
利用料金収入	17,100,000		17,100,000	16,963,379	136,621	
自主事業収入	6,611,800		6,611,800	4,278,711	2,333,089	教育プラットフォームを含む
雑入	694,490	0	694,490	941,697	△ 247,207	
印刷代	6,000		6,000	27,260	△ 21,260	館内コピー機利用料
自動販売機手数料	240,000		240,000	314,633	△ 74,633	館内設置の飲料自動販売機2台分
その他（協賛金、助成金等）	448,490		448,490	599,804	△ 151,314	協賛金助成金、キャッシュレス決済機能導入に係る補てん等
収入合計	102,055,653	236,324	102,291,977	100,069,474	2,222,503	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	53,426,849	0	53,426,849	52,517,982	908,867	
給与・賃金	45,277,149	5,403,200	50,680,349	50,014,645	665,704	
社会保険料	6,403,200	△ 5,403,200	1,000,000	884,847	115,153	共同事業体各社で出向者分は負担（給与賃金額に含む）
通勤手当	1,746,500		1,746,500	1,618,490	128,010	
健康診断費			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
勤労者福祉共済掛金			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
退職給付引当金繰入額			0		0	共同事業体各社で出向者分を負担
事務費	2,202,840	0	2,202,840	2,422,981	△ 220,141	
旅費	50,000		50,000	92,161	△ 42,161	
消耗品費	273,000		273,000	391,963	△ 118,963	コピー用紙、事務用品代
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	200,000		200,000	161,393	38,607	
通信費	1,300,000		1,300,000	1,352,659	△ 52,659	
使用料及び賃借料	81,840	0	81,840	81,840	0	
横浜市への支払分	81,840		81,840	81,840	0	目的外使用料
その他			0		0	北°-機レンタル料
備品購入費	0		0		0	32,400円以上の備品購入費
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	61,310	△ 11,310	
職員等研修費	0		0		0	研修費
振込手数料	72,000		72,000	76,628	△ 4,628	
リース料	161,000		161,000	152,328	8,672	コピー機他リース料
手数料			0		0	
地域協力費	15,000		15,000	52,699	△ 37,699	
事業費	6,611,800	0	6,611,800	3,427,259	3,184,541	
自主事業費	6,611,800		6,611,800	3,427,259	3,184,541	教育プラットフォームを含む
管理費	33,593,570	0	33,593,570	36,299,606	△ 2,706,036	
光熱水費	11,308,000	0	11,308,000	12,805,048	△ 1,497,048	
電気料金	7,657,000		7,657,000	8,067,738	△ 410,738	
ガス料金	2,431,000		2,431,000	3,267,083	△ 836,083	
水道料金	1,220,000		1,220,000	1,470,227	△ 250,227	
清掃費	5,540,370		5,540,370	5,379,000	161,370	
修繕費	800,000		800,000	810,690	△ 10,690	設備関係修繕費、舞台関係修繕費
機械警備費	347,480		347,480	337,357	10,123	
舞台技術員	0		0		0	
設備保全費	15,597,720	0	15,597,720	16,967,511	△ 1,369,791	
空調衛生設備保守	1,741,520		1,741,520	1,690,791	50,729	
消防設備保守	437,840		437,840	425,084	12,756	
電気設備保守	641,770		641,770	623,084	18,686	
害虫駆除清掃保守			0	264,000	△ 264,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	12,776,590		12,776,590	13,964,552	△ 1,187,962	舞台音響照明機構保守費、ロールバックチェア、EV保守費等
共益費	0		0		0	
公租公課	5,303,914	0	5,303,914	5,229,415	74,499	
事業所税			0		0	
消費税	5,152,214		5,152,214	5,081,715	70,499	
印紙税	10,000		10,000	6,000	4,000	
その他（均等割）	141,700		141,700	141,700	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	916,680	0	916,680	916,674	6	
本部分	916,680		916,680	916,674	6	経理事務負担分、確定申告税理士報酬負担分、プラザHP保
当該施設分	0		0		0	
支出合計	102,055,653	0	102,055,653	100,813,917	1,241,736	
差引	0	236,324	236,324	△ 744,443	980,767	